

議事録要旨

| | |
|--------------|--|
| 会議名 | 令和2年度 第1回あわら市地域ブランド戦略会議 |
| 開催日時 | 令和3年3月16日（火）15：00～ |
| 開催場所 | あわら市役所 正庁 |
| 出席者 (敬称略) | <p>【地域ブランド戦略会議委員（9名）】 あわら市／佐々木康男（市長）、あわら市商工会／赤尾政治（副会長）、あわら市観光協会／米由誠（事務局長）、福井県農業協同組合／北島友嗣（理事）、（株）金津技研／伊藤憲治（代表取締役）、（株）福井銀行芦原支店／正木宏和（支店長）、あわら市地区区長会連絡協議会／深田正彦（副会長）、あわら市／城戸橋政雄（副市長）、あわら市教育委員会／大代紀夫（教育長）</p> <p>【事務局（9名）】 あわら市創造戦略部／小嶋（部長）、あわら市土木部／永井（部長）、あわら市経済産業部／武田（部長）、あわら市創造戦略部政策広報課／江川（課長）、西正（課長補佐）、吉川（主事）、あわら市経済産業部観光振興課／赤神（課長補佐）、あわら市土木部新幹線まちづくり課／山本(課長)、翠（課長補佐）</p> |
| 報告事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ J R 芦原温泉駅周辺整備の進捗状況について ・ (仮称) 芦原温泉駅西口賑わい施設について ・ 地域ブランド発信事業について |
| 会議内容 要旨 | <p>進行) 事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会長 令和5年春の北陸新幹線芦原温泉駅開業が1年延期となり大変残念である。しかし、開業に向けて機運の醸成を図り、延期となることで発生する機械口スを最小限にするため周辺整備は、今後も歩みを止めず、令和5年春の完成を目指す。市では「あぁ、あわら贅沢。～都会にはないぜいたくがあるまち～」を基に、観光地としての知名度と魅力の向上はもとより、市民に愛され、市内外の人が訪れたいまちづくりを進めている。さらに、新幹線の開業効果を市内全域に波及させるため、「和心あふれる国際的な感幸地」をコンセプトとした観光振興戦略に基づき、観光資源の磨き上げや新たな観光商品の開発、魅力発信の強化などを推進している。 <p>本日は、「 J R 芦原温泉駅周辺整備」と「魅力発信事業」における令和2年度事業報告並びに新年度事業計画について報告する。</p> <p>次年度以降の事業展開も見据え、皆さま方のご意見と慎重なるご審議をお願いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新幹線まちづくり課 J R 芦原温泉駅周辺整備の進捗状況について説明。 (資料1を基に説明) |

議事録要旨

●まちづくりデザイン部会長

(仮称) 芦原温泉駅西口賑わい施設について説明。

- ① 施設の利活用について (資料 2 を基に説明)

●観光振興課

- ② 管理運営計画 (案) について (資料 3 を基に説明)
- ③ 魅力体感施設について (資料 4、5 を基に説明)
- ④ カフェレストラン・物販店舗について (資料 6 を基に説明)

●委員

資料を拝見し、立派な施設であり内容もとても素晴らしい。あわら市は、昔から観光と農業が盛んである。農協から見ると、丘陵地関係の現状はとても厳しい。立派な施設を建設し、組合や農家の人は喜ぶが、大切なのはいかに生産を伸ばすかということ。道の駅の整備もあると聞いている。私たちも期待に応えられるよう丘陵地関係に力を入れていくので、市の皆さんもぜひ力を貸してほしい。

●委員

資料 2 について、福井駅前の「はぴりん」を参考にしているということだが、いいところと悪いところはどいった点なのか。

●まちづくりデザイン部会長

音響の問題や天候に左右される。しかし、あわらは天候に左右されずイベントが開催できる。フルーツのイベントはたくさん人が集まる。フルーツといえばあわらの丘陵地が有名。そのイベントを開催し、あわら市を広く PR していきたい。ぜひ、皆さまのご協力をお願いしたい。

●委員

立派な施設でこれからは楽しみである。しかし、夜間のバスやタクシーといった公共交通機関が運航していない。そんな中で開業した場合、お客様が大変である。何か対策を講じてもらいたい。

●事務局

新幹線との時刻表を基に、タクシー業界と協議を重ね、検討していきたい。また、高齢化が進むにつれ、タクシーなどの需要も高まってくる。総合的に判断し、検討していきたいので、商工会の皆さまにもご協力をいただきたい。

●事務局

地域ブランド発信事業について説明 (資料 7、8)

「おにぎりアクション 2020」について

「あわら感幸創造マイスター」養成セミナーについて

「感幸プロモーション」動画の制作について

議事録要旨

インスタグラムによる魅力発信について

あわら贅沢さがし授業、あわら贅沢スペースについて

令和2年度決算見込みについて

令和3年度地域ブランド発信事業について

●委員

おにぎりアクションについて、農協も全面的に協力していきたい。一番大切なことはブランド競争である。「いちほまれ」は特に味もよく最高である。しかし、福井県は宣伝が上手ではない。このおにぎりアクションをとおして積極的にPRもしてもらいたい。

●委員

感幸創造マイスター養成セミナーについて、最終のプレゼンに参加した。どれも魅力的であったが、実際に実施している事業はあるのか。

●事務局

なみまち倶楽部の企画やカヤック体験、メガパフェづくりなど、複数がモニターツアーを実施している。来年度は、実施していくための問題点を協議し磨き上げを行い、事業化に向けて取り組んでいく。

●委員

おにぎりアクションについて、資料をみると新聞を含めたくさんの記事が上がっているが、各種メディアが取り上げられるようなイベントはいかがか。ただ実施するのではなく、このおにぎりアクションが何に役立っているのか、学ぶことができるとよい。

メガパフェづくりですが、地区の大会をやってはいかがか。フルーツの消費も増えてくるので、農協さんとの連携もできる。

●事務局

おにぎりアクションについては、新型コロナウイルスの影響で活動がかなり制限されてしまった。メガパフェづくりに関しては、検討します。

●委員

次年度の感幸創造マイスター養成セミナーについて、継続する内容をできる範囲で教えてもらいたい。

●事務局

受講生の皆さんに意識調査を行った。グランディアの山口さま、細呂木創成会の酒井さま、蓮如の里の末富さま、海渡さま、観光振興課竹内はそれぞれ継続。観光協会は協議中。なみまち倶楽部は坂井さまの推薦で、後任が決まる予定です。正式なメンバーや人数は、決まっていないのでご了承願います。

●委員

ありがとうございます。農業体験のモニターツアーを考えています。令和3年度中に商品化を考えている。

議事録要旨

●委員

賑わい広場について、イベントに軽トラ市とあるが車の乗り入れはできるのか。

●事務局

基本的に乗り入れは大丈夫。しかし、イベント開催時に限る。平常時は入れない。

●委員

車を並べるイベントとかは開催可能か？また何台止められるのか？

●事務局

問題はないが、間隔をあける必要があるので 10 台ほどしか止められない。

●委員

新幹線の駅について、北陸でも上手く営業できていないところがあると聞いている。あわら市は、そのようになってほしくない。芦原温泉駅にどのような時間帯で、何がとまるのか。わかる範囲で答えていただきたい。

●会長

かがやきは、芦原温泉駅にとまるかは微妙。はくたかは停車予定。

芦原温泉駅を作るだけではだめ。ほかのエリアにいかにか結節させていくかが重要である。ハード面の整備だけでなく、感幸創造マイスター養成セミナーのようなソフト面の充実が必要。また、あわら市の特産物を活かせることが強みでもある。

ほかの駅を視察し、いいところをみてきている。芦原温泉駅は上手に利用すれば、必ず利用客や観光客は増えると思う。タクシーの話は、コロナ禍であり観光客が少ないため、運航していないのではないか。

「いちほまれ」の PR について、一昨年京都に自ら出向いて PR を実施した。広告映像だけでは上手くいかないの、足を運んで伝えることが大切である。県と連携し、出向いて PR できるようにしていきたい。